

■潮来市第7次総合計画後期基本計画（素案）に対するパブリックコメントの結果公表について

NO.	指摘箇所	意見	回答	後期計画修正方針
1	第1章 第1節 計画策定の趣旨	<p>○冒頭、日の出地区をはじめとする復興事業が終了とあるが、いまだに側溝の蓋の無いところが多数あり、毎年側溝に脱輪する車や、側溝に生えた草木が道路の視界を妨げる部分がある。</p> <p>○又、通学路の安全確保の観点からも、早急に開口部を無くすことが求められる。本来、安全の確保の為に復興事業の中で完了させるべき事項であり、行政の対応力の欠如が問われる。新しい町づくりの前にスタートラインにつけるように早急な取り組みをお願いする。</p>	<p>○日の出地区側溝の蓋に関する事柄については個別事案として、担当課にお伝えいたします。</p> <p>○同上</p>	○修正なし
2	第2節 3 将来の潮来の暮らしの在り方	○「地域においては鹿嶋市や神栖市との関係性を構築する」とあるが、行方市や香取市との連携も外すことは出来ないのではないか。十四番地区は香取市との関係を無視することは出来ない。行方市も県の行政区域が潮来市と連携しており、高等学校も麻生、玉造工業に多数通学しており、鹿嶋市と神栖市に限定する理由が理解できない。	○ご意見いただきましたとおり、行方市との連携について追加記載してまいります。また、香取市との連携につきましても「第5節後期基本計画における課題-3 周辺都市との連携を前提に、潮来市のまちづくりの方向を見極める」に記載のとおり市民の生活圏における連携だけでなく、観光分野における広域での連携についても取り組んでまいります。	○修正あり 行方市との連携について追加記載

NO.	指摘箇所	意見	回答	後期計画修正方針
		<p>○東関東自動車道を軸にした連携についても成田、水戸だけでなく、つくばや首都圏の主要都市、特に医療問題を解決するには東関東自動車道を軸にした首都圏の医療機関とのネットワーク構築は直近の課題として取り組む必要が有る。</p>	<p>○つくばや首都圏の主要都市との連携（特に医療問題解決のための高速道路を軸とした医療機関とのネットワーク構築）については、DXの医療分野への普及など、情報技術の活用を含め、検討してまいります。</p>	<p>○修正なし</p>
3	<p>第4章 第2節 総合戦略</p>	<p>○重点施策の中にゴミ処理問題を解決する事が含まれていないのは重大な瑕疵である。毎日の生活の中でゴミ処理は必須課題です。灰溶融施設は平成11年に稼働しましたが平成17年に老朽化で停止、現在は外部委託しています。ごみ焼却施設の通常の耐用年数は15~20年程度と言われており、長寿命化修繕をした場合でもおおよそ30年が寿命とされています。鹿嶋市では平成13年（2005年）に稼働したごみ焼却炉を老朽化更新し昨年より新ごみ処理炉が稼働しています。このプランへの参加を拒否された、潮来市はこれより古く、20年以上の稼働になっています。いつ停止してもおかしくない状態にあります。修繕を繰り返しながら使い続けるとの事ですが、いつまで使えるか・・・行方市も同様の問題があり、約12年修繕しながら稼働させていく方針。国からの助成金は複数の市町村と共同で使うことが前提になっており、数百億かかる建設費をどのように予算措置するか、早急に共同でごみ焼却施設を更新する市町村の計画が求められており、こ</p>	<p>○総合戦略は、人口減少や地域の活性化など地方の社会課題解決を図るため、国が示す4つの項目である「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「地方に仕事をつくる」「人の流れをつくる」「魅力的な地域をつくる」について、重点目標を設定し施策に取り組むもので、子育て支援や企業誘致、観光、DX推進、地域共生社会の実現等を重点目標として位置づけております。ごみ処理問題（ごみ焼却施設）に関する問題につきましても、市民生活に関わる重要な施策として認識しており、本計画「6-2カーボンニュートラル」に記載して</p>	<p>○修正なし</p>

NO.	指摘箇所	意見	回答	後期計画修正方針
		<p>れを計画に組み込む必要がある。建設には3年以上の建設期間が必要であり、基本計画の作成から建設完了までは12年かかると言われており、早急に計画書をつくる必要があります。</p>	<p>ありますとおり、今後とも適正な維持管理を行っていくとともに、新たなごみ処理の取組についても検討してまいります。</p>	
4	<p>第5章 第3節 3-1 自治体DXの推進</p>	<p>○本計画書にはSDGsの説明はありますが、DXの説明はありません。DXとは何？ Deluxeではない。DX（デジタルトランスフォーメーション）の取り扱いについて、一般住民にわかる説明をお願いしたい。自治体DXの推進では「誰一人取り残さないデジタル社会」とあるが、SNS等を利用できている世代は若者だけで、高齢者には限界がある。ガラケー携帯を使っている人、携帯を持たない人も多く見ます。この点を考慮した取り組みが必要です。デジタル社会では誤った情報、フェイク情報が一瞬のうちに広域に流れます。これらを操作するのは人です。先ずは人材育成が必要であり、虚偽の情報を食い止める施策も必要です。コンピュータは人が作ったもの100%完璧なものはない。特にソフトウェアは長時間をかけてテストされたものでも瑕疵は出てくる事を念頭に、複数の防護柵を設けることを忘れてはいけません。表向きの良い話だけを取り上げて、防御を怠ると重大なトラブルを招くことを考慮して計画をお願いしたい。現在マイナンバーカードの普及に取り組まれています。DXの推進には必要な第1歩と考えます。残念ながら、なかなか普及しない現実に対し真剣に取り組む必</p>	<p>DXの説明については、巻末の用語解説に追加いたします。 また、潮来市DX推進計画を令和5年12月に策定しており、この計画中にデジタルデバイスに対応する事項を盛り込んでおります。本計画では職員のデジタルスキルやセキュリティ意識を向上させる必要がある旨を記載しており、本市においてもセキュリティ対策が重要であると考えています。また、常に高いセキュリティを施し、情報資産を守るための取組を記載しており、DX推進につきましては、潮来市DX推進計画に沿って施策を進めてまいります。</p>	<p>○修正あり ・巻末の用語解説にDXを追加。</p>

NO.	指摘箇所	意見	回答	後期計画修正方針
		<p>要があります。マイナンバー制度が実施された時、各企業では、個人情報の漏洩に最新の注意が払われ、これを扱う機器はセキュリティが強化され厳重な管理が必要とされてきました。その反面、マイナンバーカードの利用は個人情報の漏洩、紛失時の対応等危惧する事が多く、誰もが慎重になっています。健康保険証の紐づけや銀行口座の紐付けに誤りが多数出たのはこの慎重さに欠ける取り組みをした行政の責任が大きいのと言わざるを得ません。一般企業でも二重チェックは当たり前の仕事。DXの推進には住民への信頼が不可欠です。この点を計画に盛り込んでいただきたい。(住民への説明、利用者の意見を反映する機会を設けていただきたい)</p>		
5	3-3 行財政運営	<p>○目標とする指標で経常収支比率が現状 83.9%→目標値 92.5%となっているが、この数値が示す内容について説明をお願いしたい。(割合が高ければ高いほど、新規施策や新規事業に投資する予算が少なくなり、割合が低ければ低いほど、新規施策や新規事業に投資する予算が多くなります。と言われており、何をターゲットにした値か)</p>	<p>○当該指標は、税金等の経常的な収入が、義務的経費（人件費・公債費・扶助費）を中心とした、経常的な支出に占める割合を示したものです。この数値が高い程、財政が硬直化し、余力のないことを示しています。</p> <p>○現状の 83.9%は、潮来市の新型コロナウイルス感染症対策事業に伴い、一時的に低い状況となっていますが、今後はコロナ以前の数値に戻ることが見込まれます。</p>	○修正なし

NO.	指摘箇所	意見	回答	後期計画修正方針
			<p>○新規事業と安定的な行財政運営のバランスを考慮し、コロナ前の3年間（H29～R1）で最も低い数値である 92.5%を目標としたものです。</p>	
6	<p>第5節 5-3 観光業</p>	<p>○一時80万人近い来場者があったあやめ園が19万人に減った原因は何か？派手なイルミネーションが良いとは思えない。潮来市の観光の1番は「あやめ」である。あやめが主になる取り組みを。どこよりも綺麗な「あやめ」が咲き誇り、観客の心を掴むことです。最近のあやめ園にはあやめの時期でもあやめが咲いていない風景が目につきます。隣の水郷佐原あやめパークと比較しても見劣りします。あやめの管理者は一生懸命なんとかしようとして奮闘していますが、思うように行っていないのが実情。あやめ娘や嫁入り船で観光客を呼び込もうとしても一時的なものリピート客や評価は望めない。先ずはどこよりも綺麗な「あやめ」が咲き誇るあやめ園を目指してほしい。その為にはあやめ技術者の養成、他のあやめ園の視察、前川沿いのあやめ造園化等を検討する機会を加えていただきたい。</p> <p>○また、「日本一の水路のまちづくり」とは何か、何をすれば日本一の水路になるのか。シートパイルの鉄骨が露出した護岸でできた水路を指すのか、澱んだ水が流れる前川なのか、具体的な目標値を掲げなければ何も進まない。施策にあった</p>	<p>○水郷潮来あやめまつり期間中における来訪者については、新型コロナウイルス等の影響もあり、以前よりも減少しております。引き続き水郷潮来あやめ園の魅力向上、通年型観光に向けた取組、良好な景観形成にむけた取組等、進めて参ります。</p> <p>○「日本一の水路のまちづくり」につきましては、水郷の歴史や文化の継承、良好な景観形成、水上レクリエーション等による前川の</p>	<p>○修正なし</p> <p>○修正なし</p>

NO.	指摘箇所	意見	回答	後期計画修正方針
		魅力を実現する目標値設定をお願いする。	利活用などについて、令和4年1月に「日本一の水路のまち基本計画」を策定していることから、本計画に基づき取り組んでまいります。	
7		○ご担当者の皆様には、丁寧な計画と実行力に感謝いたします。〔素案より〕施策にある、「地域医療体制づくり」、「新しい産業（雇用）」、「高齢者福祉」、少子化の進む中での「学校教育環境の整備」など、課題が山積している潮来市ですが、今後も市民の声を確かめ、有識者の意見を杖として、財源の少ない中、ひとつひとつハードルを越えていってほしいと願っています。それぞれが難解な問題ですが、力強い声で、市民を救っていただきたいと思います。	○今後とも市民の皆様のご意見を伺い、市民の皆様と共働しながら、課題解決に向けた取組を進めてまいります。	○修正なし
8	観光分野	○観光は、産業横断的な特質を持っていることをはっきりと認識すべきである。農業も、商工業も、教育部門も、建設業もである。観光を単に物を見、物を食べ、非日常的なものがあれば十分と考えるのは間違いである。神宮や歴史に触れることに依り、「自己の確認」をすることも大事ではあるが、日常の中にある競技会等による地域観光を再見することも大事であろう。また、潮来は、天が与えた高速道路、JR、国際空港（2箇所）、大河、大湖、東京まで95kmなど信じられない、他地域では1兆円費やしても得られない財産がある。	○当市ならではの地域資源や公共施設等を活用しながら、地域活性化に取り組んでまいります。	○修正なし

NO.	指摘箇所	意見	回答	後期計画修正方針
		これからは、それを周知することと、アジア以外にも大きく周知し、インバウンドの市場を今の 50 倍ぐらいにはしなければならない。		
9	4-1 学校教育	○目標とする指標の部分に、突然「市内小中学校の給食における地元産品の品目（年間使用品目）が記載されているが、現状と課題に、「学校給食完全無償化」や「子供たちが、食に関する知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、生きた教材となる学校給食の充実を図る必要があります。（県教育委員会）などの記載があって、「食育」に繋ぐ流れがあって、目標とする指標に品目数が示されるのではないかと思う。	○当市では子育て世帯の経済的支援等のため、令和 4 年度から学校給食費の無償化に取り組むとともに、地元産の米や野菜を活用し、地産地消などの食育にも取り組んでいることから、現状と課題に追記いたします。	○修正あり 現状と課題に追記
10	6-5 防犯・交通安全	○5 総合戦略に位置づける施策・事業の欄に、「施策 42 安全・安心なまちづくり（再掲）」が入るのではないか。	○施策 42 安心・安全なまちづくりは、防犯や交通安全だけでなく、地域で支え合いながら生活できる環境の創出のため、自治会や消防団への参加の促進となっておりことから、「1-1 地域づくりの担い手との連携」に記載されております。	○修正なし
11	4-5 地域文化	○文化協会事業にあたるのかどうかよくわかりませんが、市から助成を受けて活動している会の数や会を維持するための施策があると良いと思いました。 高齢化で助成を受けられる会の人数が 30 人?などという規定をもっと少ない人数でも可能になるなど。 ※市民文化祭の	○文化活動に限らず、人口減少や少子高齢化の影響により市民活動の縮小などが懸念されることから、本計画としては「1-1 地域づくりの担い手との連携 施策の展開」	○修正なし

NO.	指摘箇所	意見	回答	後期計画修正方針
		<p>人数目標値は上がっていますが、会が維持できないと参加者は減少すると思われます。</p>	<p>に記載しております。今後とも文化活動をはじめとして、まちづくり全般に関わる担い手の育成に取り組んでまいります。また、助成を受けられる団体の基準緩和については、担当課にお伝えします。</p>	
12	5-3 観光業	<p>○観光入込数 現状値 98 万人 目標 200 万人とかけ離れた数値目標に見えるが、ここには補足が必要であると思う。コロナ前の数値に回復できるように努めることが書かれるべきなのではないか。危機感の共有が必要。平成 30 年 183 万人、令和元年 173 万人の数値を補足説明とともに入れて欲しい。観光事業者との連携を課題にうたいながら、施策・事業にない。市が先導して、祭団体や観光事業者との協力体制確立を遂行して欲しいし施策に入れて欲しい。</p>	<p>○観光入込み客数については、現状と課題欄に平成 30 年度の数値を記載いたします。また、今後の当市における観光振興の取組を進めるため、観光関連団体や観光事業者等との連携について、施策の展開に記載いたします。</p>	<p>○修正あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題欄に平成 30 年度の数値を記載 ・施策の展開欄に観光関連団体・観光事業者との連携の取組について記載